

2022年度秋期キリスト教教育強調週間

2022年9月28日

キリスト教委員会

2022年度秋期キリスト教教育強調週間を下記の通り計画しました。

今回の強調週間では日本キリスト教団名寄教会牧師の日向恭司先生をお迎えし、「イエスとは何者か——『思想及び良心の自由』をめぐってキリスト教について考える」と題してお話しいたします。日本の大学では1960年代からカルト宗教の被害が生じ、特にキリスト教主義大学では、大学の掲げるキリスト教主義を隠れ蓑にして、「キリスト教系カルト宗教」が入り込みやすかったこともあり、その対応に苦心してきた歴史があります。講師の日向先生はご自身が教育大に在学中に統一教会に入信して2年間活動をしたのですが、統一教会から脱会し、その後にキリスト教を学び直し、統一教会の信者の脱会活動に力を注いで来られました。その後に日本キリスト教団の牧師となり、複数の教会と北海教区幹事として働かれ、その間も特に教区幹事としてカルト宗教の問題と関わって来られました。そこで、今回の強調週間では、日向先生ご自身の経験をも踏まえて、「イエスとは何者か」という主題を通じて、本学が掲げるキリスト教の要諦をお話しいたし、学生と教職員がキリスト教について正確に知る機会にしたいと考えています。そして、そこからさらに副題にもある「『思想及び良心の自由』をめぐってキリスト教について考える」という内容から、カルト宗教の問題や思想や良心の自由についても一緒に考える機会にしたいと願っています。

——記——

日時：2022年10月25日（火）10時40分～12時10分

場所：リモート礼拝（礼拝動画配信）

聖書：マルコによる福音書8章27～30節

主題：「イエスとは何者か——『思想及び良心の自由』をめぐってキリスト教について考える」

講師：日向恭司先生

日本キリスト教団名寄教会牧師、元日本キリスト教団北海教区幹事

略歴：日向恭司（ひむかい・きょうじ）

札幌で大学時代に統一教会に入信して2年間活動。統一教会脱会後に日本キリスト教団十二使徒教会で受洗し、統一教会信者に脱会を勧める活動に力を注ぐ。大学卒業後は教会の事務、会堂管理、教会が経営する喫茶店業務に従事しながら独学で試験を受けて牧師となる。十二使徒教会、手稲はこぶね教会（現札幌手稲教会）を経て、2010年より北海教区幹事として道内の教会の巡回等に従事。2018年名寄教会に赴任し現在に至る。平日は名寄幼稚園園長として勤務。58歳。趣味は陶芸・DIY・アニメ・キャンプ・カラオケ・珈琲。

以上